

微量採血のための穿刺(せんし)器具の取り扱いについて (お詫びとお知らせ)

先般、他県において微量の血液を採取するための器具の不適切な使用があり、これを受けて当センターにおきましても調査を実施致しましたところ、一部入院患者様に対して不適切に使用していたことが判明いたしました。

本件に関しては、マスコミ各社に対し名古屋市を通じて報告し、該当の可能性のある患者様には個別の通知をさせて頂き、その中でご心配の患者様には血液検査を無料で実施させて頂く予定です。

皆様方には大変なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと深くお詫び致します。

この器具は、主に糖尿病の患者様の血糖値を測定するために、指先などに針を刺して微量の採血をおこなうもので、当センターでは、穿刺針はご使用ごとに交換・破棄致しておりますが、同器具の穿刺具のキャップ部分については、平成15年9月より平成20年4月25日まで消毒をして再使用いたしておりました。なお、それ以後につきましては完全に使い捨てタイプに変更しております。

今後は、今回のような事案の発生を防止し、安全・安心な医療を提供していけるよう十分に注意して参ります。

平成20年7月7日
名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院
病院長 河合 憲一

【ご参考】

針の周辺部分が複数の患者様の皮膚に接しておりますが、このことにより国内において感染症の発症があったという事例の報告は受けておりません。

微量採血のための穿刺器具とは、主に血糖値を測定するための微量の血液を採取するために用いる器具で、通常の注射器等とは異なります。

当該器具をお一人の方が専用に使用されることについては問題ありません。

【問い合わせ先】名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院

総務部 電話 052 - 835 - 3811